

伊賀市地域公共交通計画について ～いがまち地域～



1. 地域公共交通計画について

伊賀市では、鉄道やバスなどの公共交通が、市民の皆さんの通勤・通学、買い物、通院など、日々の生活を支える大切な移動手段となっています。

しかし、人口減少や高齢化が進む中で、**公共交通を利用する人が少なくなり、運行の維持が難しく**なってきました。一方で、**自家用車を使えない高齢者や子どもたちにとっては、公共交通がなくなると生活に大きな影響**が出てしまいます。

また、「住みよいまち」とすることによる人口流出防止や「にぎわいづくり」の面からも、公共交通の見直しや再構築が求められています。

こうした中で、伊賀市では、既存交通サービスを最大限活用し、市民の移動ニーズに応じた、持続可能な公共交通サービスの確保に向け「次期伊賀市地域公共交通計画」を策定中です。

これに際し、伊賀市では特に地域による**特性が大きく異なるため、地域の実情に応じた交通手段の展開**が必要と考えています。

本会議では、地域の実情をお聞かせいただくことを目的としております。

本日は、次期伊賀市地域公共交通計画の検討していくにあたり、アンケート調査にて把握した**いがまち地域における公共交通の現状**などについて、再度確認していただきたいと思っております。

2. アンケートの概要

計画の策定にあたり、今秋（9～10月）に以下の3種類のアンケートを実施しました。

①市民アンケート(実施済み)

市民の移動実態およびニーズの変化と既存公共交通サービスとのギャップを把握

| | |
|-----|--|
| 対象 | 伊賀市内の住民計5,000世帯 ※対象世帯は住民基本台帳からの無作為抽出 |
| 目的 | 市民の移動実態や、公共交通への要望の把握 |
| 時期 | 2025年9月16日（火） ～2025年9月30日（火） |
| 方法 | WEBアンケート形式 ・WEBアンケートのQRコードを記載したハガキの郵送配布 ※別途、市HPやeモニターを活用 |
| 回収数 | 798票 |

②高校生アンケート(実施済み)

公共交通の利用が多い高校生の公共交通の利用実態や利用促進に向けた課題の把握

| | |
|-----|--|
| 対象 | 伊賀市内の高校に通う1、2年生 |
| 目的 | 高校生の移動実態や、公共交通への要望の把握 |
| 時期 | 2025年9月16日（火） ～2025年10月7日（火） |
| 方法 | WEBアンケート形式 ・WEBアンケートのQRコードを記載した案内文を配布 |
| 回収数 | 208票 |

③利用者アンケート(実施中)

日頃から公共交通を利用している利用者の利用実態や意向の把握

| | |
|-----|---|
| 対象 | 伊賀市内の公共交通利用者 ※市外からの来訪客も含む |
| 目的 | 利用者の利用実態や意向の把握 |
| 時期 | ■配布日 2025年10月23日（木） 10月26日（日） ■WEB・ハガキ回収期限 2025年11月14日（金）まで |
| 方法 | WEB・ハガキ併用アンケートの聞き取り、配布 場所：伊賀神戸駅、伊賀上野駅、上野市駅 |
| 回収数 | 359票※11月上旬時点 |

3. アンケートの結果(概要)

【地域概況】

- いがまち地域は、市全体に比べて、「300m以内に駅、またはバス停がある人」の割合がやや低く（P.6） **公共交通へのアクセスが比較的にくい地域**である。

【公共交通に関する意識】

- 免許返納意向（P.5）はやや高い。
- 現在の**公共交通利用者の割合**（P.7）は市全体よりも**やや低く**、将来の公共交通の利用意向（P.11、P.22）も低い地域である。

【移動の特徴】

- 移動手段として、市全体に比べて**JR関西本線やJR草津線等の鉄道**を利用している人が多い。（P.10、P.14、P.16、P.20）
- **バスについて**、利用者アンケートや高校生アンケートでは高い傾向にある。（P.10、P.14、P.16、P.20）
- お出かけの目的地は**いがまち地域や上野地域が比較的多い**。（P.8、P.15）
- 市全体に比べて、**買い物**を目的としている割合が高い。（P.9）
- **自家用車で移動される方（自分で運転・家族の送迎）**の割合は市全体と比べて**低い傾向**にある（P.10）。

3. アンケートの結果(概要)

【公共交通に求めるサービス】 (P.13、P.19)

- 「**安価で移動できる地域主体の交通手段**」については関心が高いが、市民アンケートでは、市全体と比べると関心がない傾向にある。
- いがまち地域では、「**タクシーが一定の条件付きで割り引かれる**」サービスや「**公共交通で買い物に行くと、店でのポイントの付与や割引が得られる**」サービスについて市全体よりも、関心が高い。

【今後の利用促進に必要な事項】 (P.12、P.18、P.21)

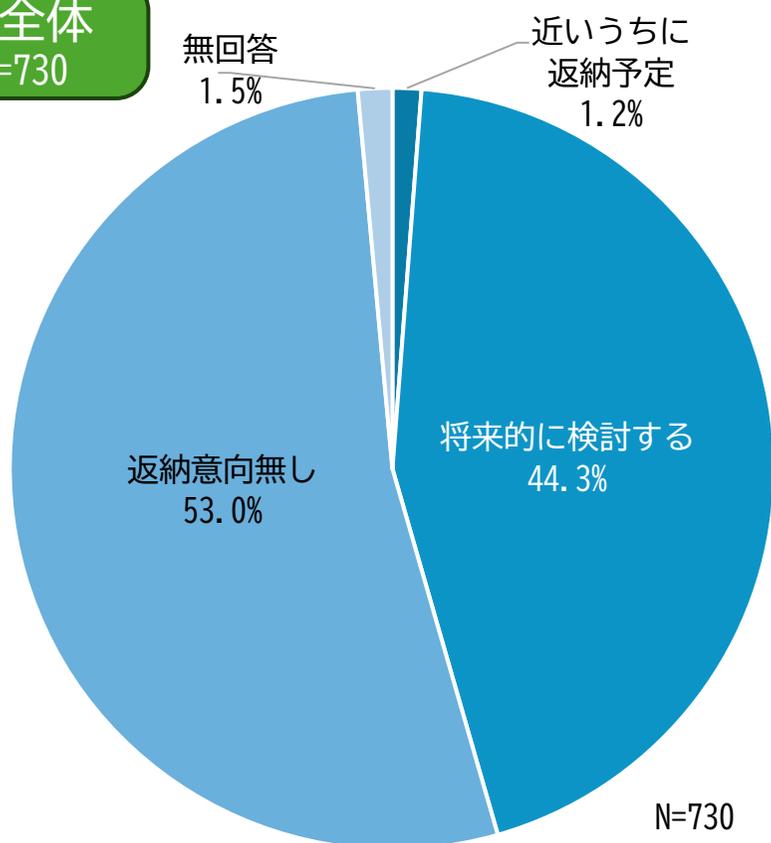
- いがまち地域は、利用促進に向けた取組として、「**バス路線の新設や運行本数の増便**」について、市全体よりも重要と捉えられている。
- 「**学生や高齢者を対象とした運賃の無料化や補助**」という項目は、市全体と同様に高く、利用者アンケートでは、「**学生や高齢者を対象とした運賃の無料化や補助**」の項目の重要度が市全体よりも高い。
- いがまち地域では新たな移動手段についてあまり関心がない傾向にある。
(P.24)

3. アンケートの結果(市民アンケート)

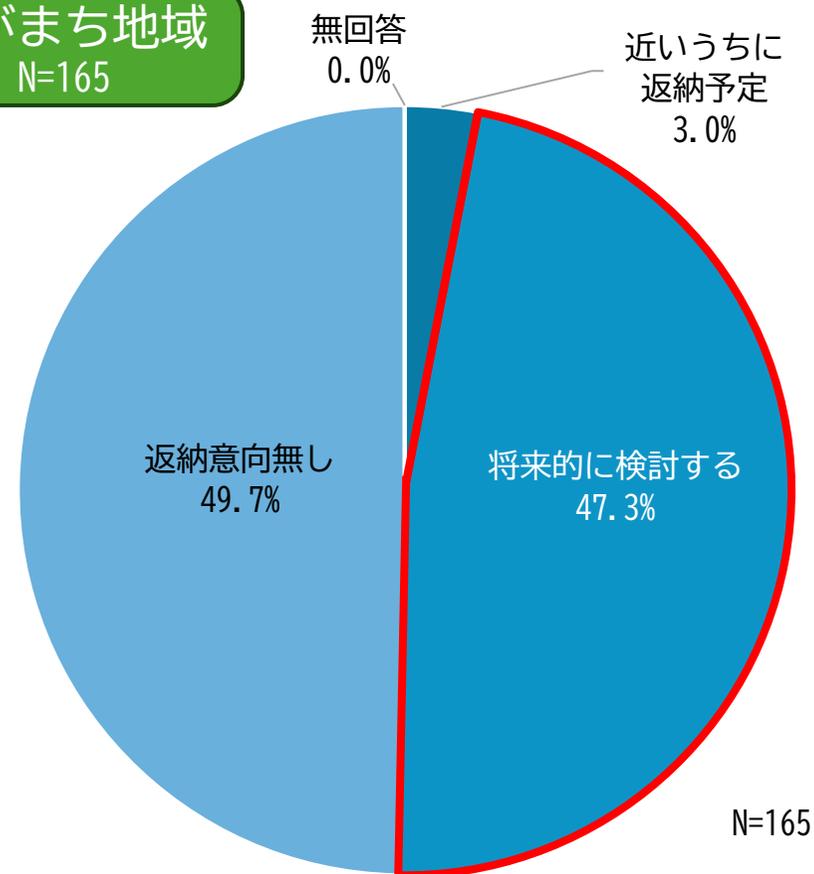
【市民アンケート】運転免許の返納予定

- ・ いがまち地域は、市全体にくらべて、**運転免許の返納意向がやや高い。**

市全体
N=730



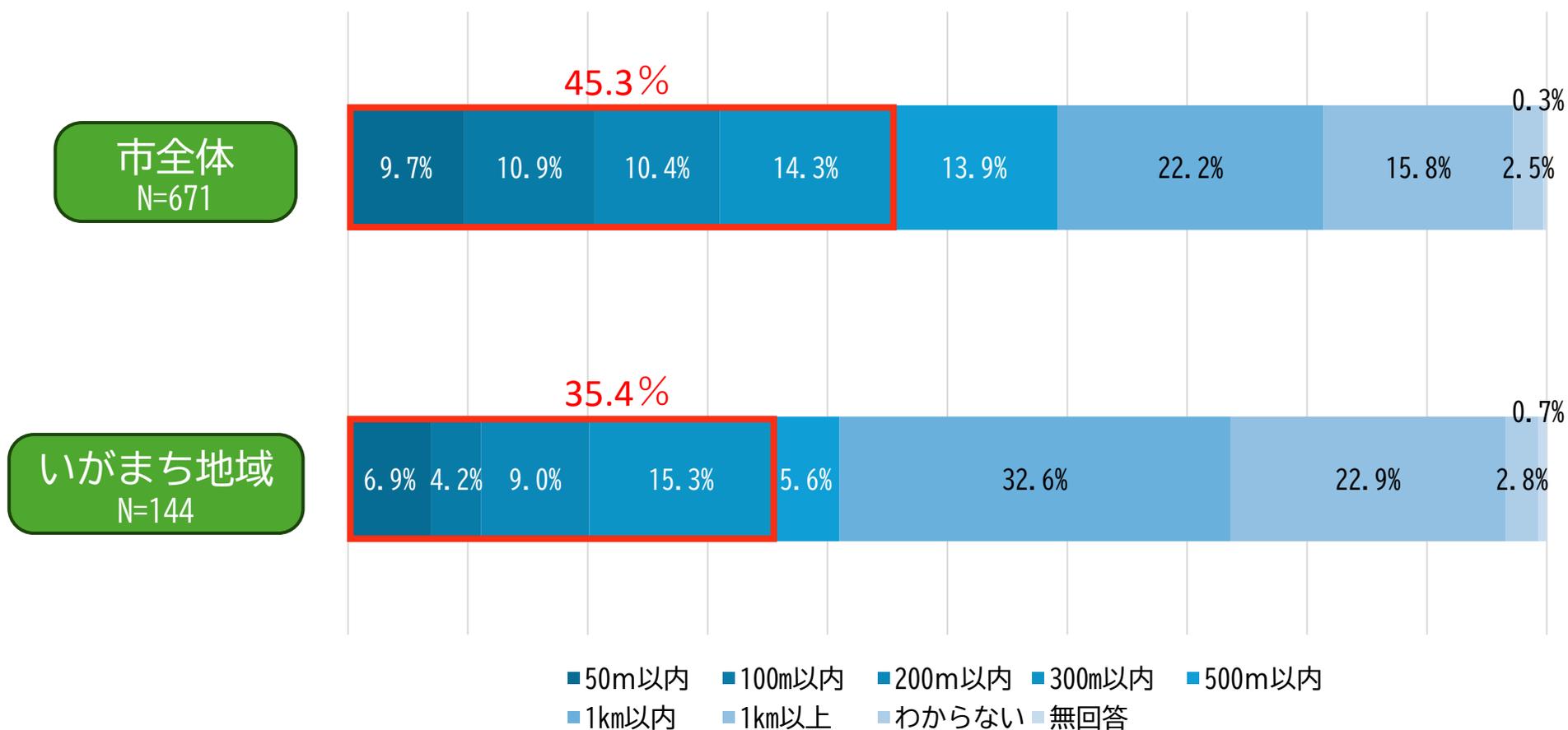
いがまち地域
N=165



3. アンケートの結果(市民アンケート)

【市民アンケート】自宅からの最寄りの駅またはバス停までのうち、近い方までのおよその距離

いがまち地域は、市全体にくらべて「**300m以内に駅、またはバス停がある人**」の割合が低く、他地域と比較し、交通の利便性が低い。

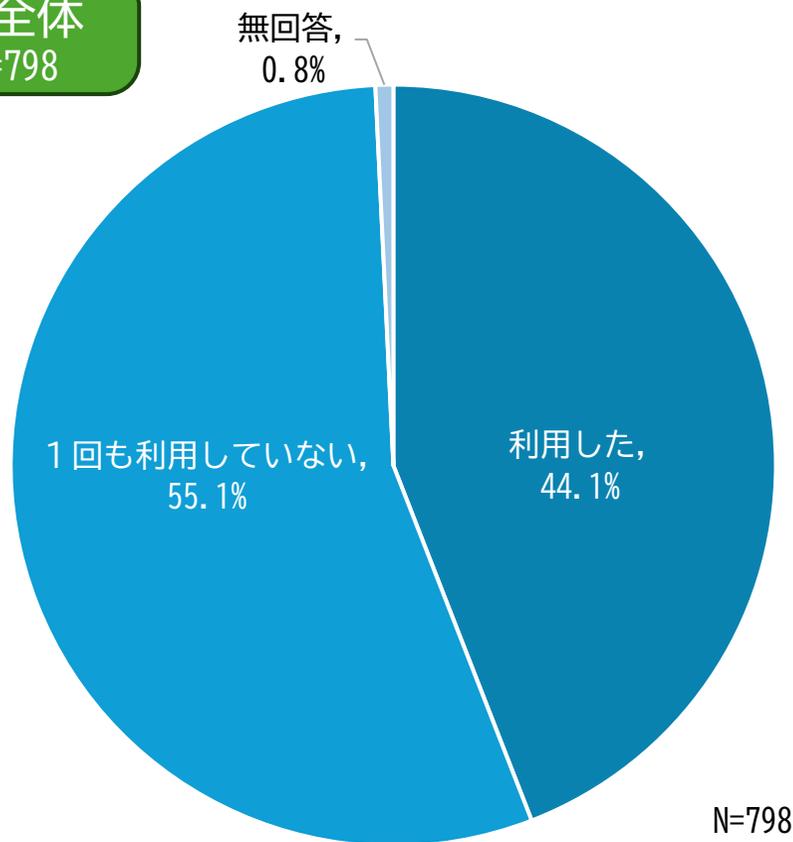


3. アンケートの結果(市民アンケート)

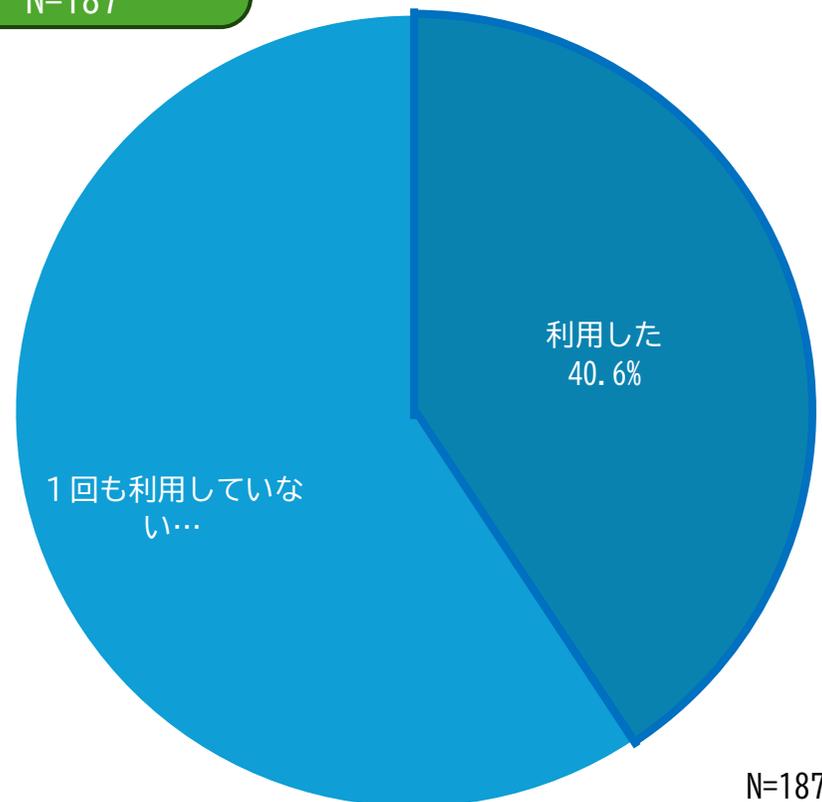
【市民アンケート】この1年間に市内の公共交通を利用した状況

いがまち地域は、市全体と比較して、公共交通の利用率がやや低い。

市全体
N=798



いがまち地域
N=187

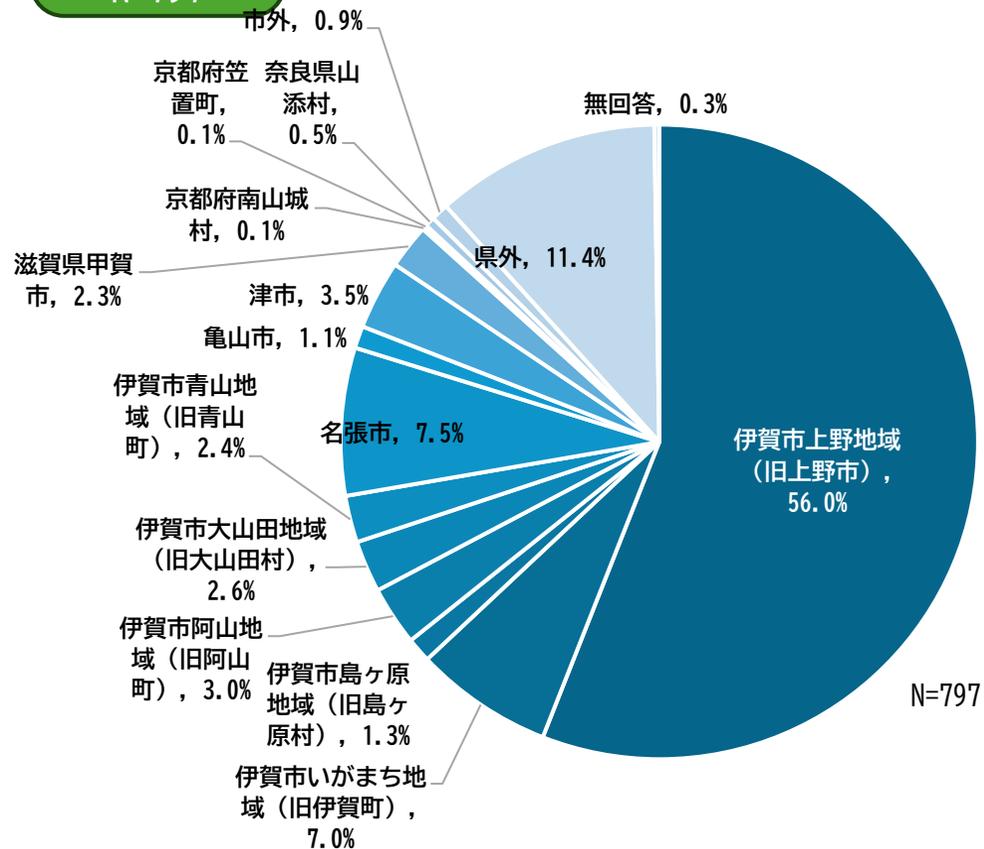


3. アンケートの結果(市民アンケート)

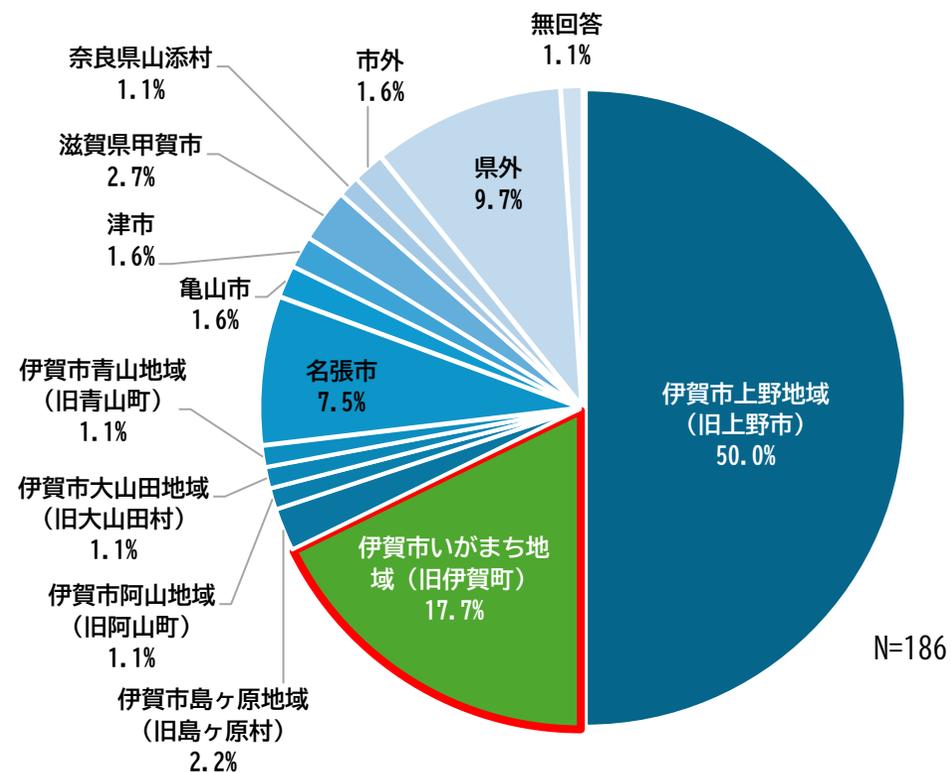
【市民アンケート】】【おでかけ①】よくお出かけする目的地

いがまち地域は、市全体に比べて、**いがまち地域内及び上野地域**を目的地としている割合が高い。

市全体 N=797



いがまち地域 N=186



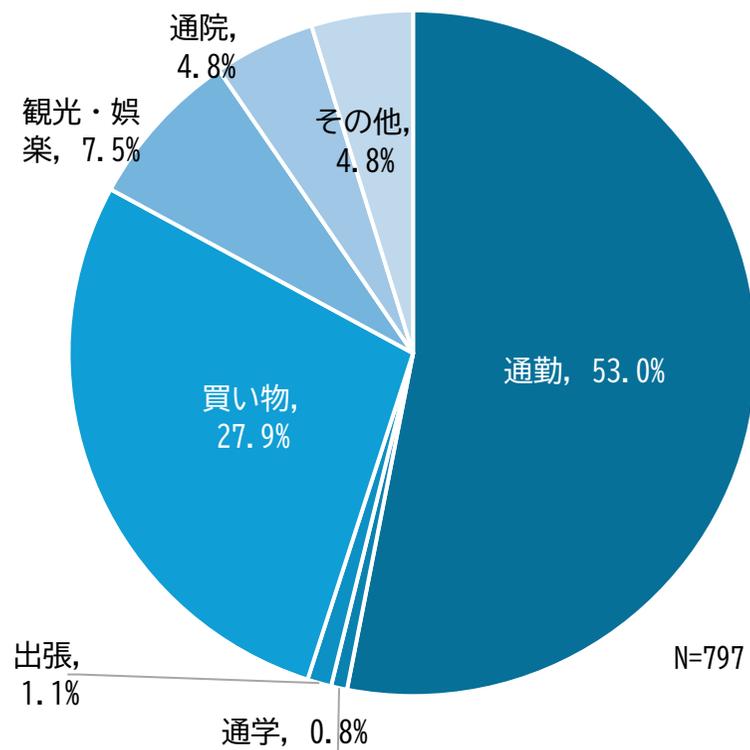
3. アンケートの結果(市民アンケート)

【市民アンケート】】【おでかけ①】よくお出かけする目的

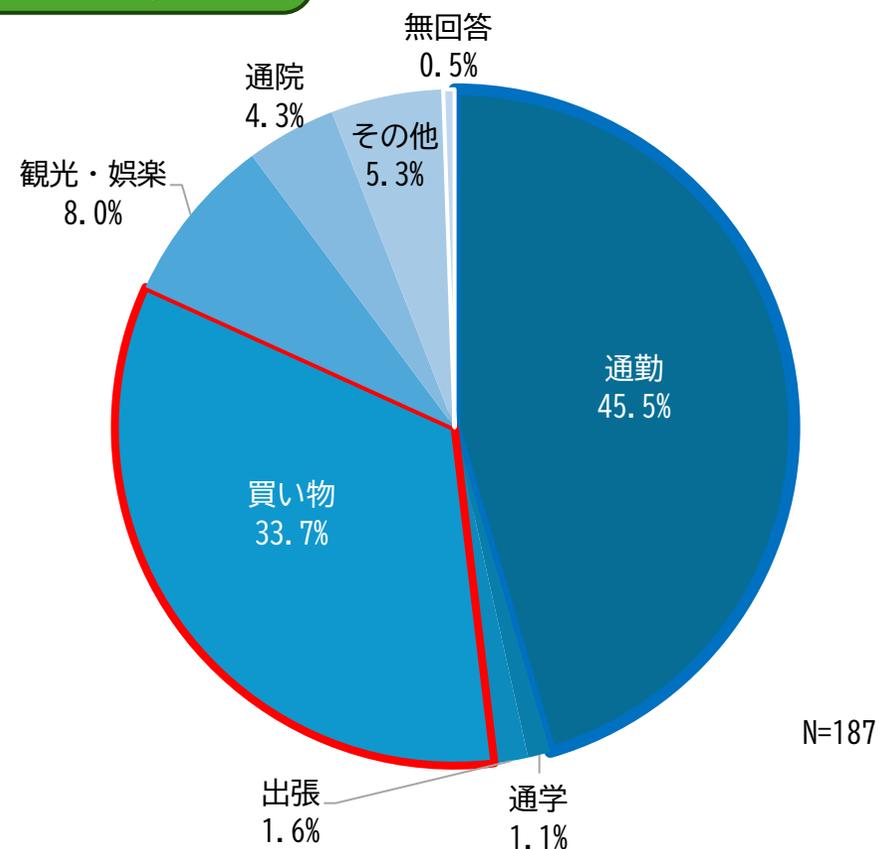
- ・ いがまち地域は、市全体に比べて、**買い物**を目的としている割合が高い。

— 市全体と比較して高い — 市全体と比較して低い

市全体
N=797



いがまち地域
N=187



3. アンケートの結果(市民アンケート)

【市民アンケート】【おでかけ①】その目的で利用する交通手段(全て)

- ・ いがまち地域は、市全体よりも、**JR草津線、JR関西本線**の利用割合が高い。
- ・ **自動車（自分で運転、家族等による送迎）**での移動割合が市全体よりもやや低い。

| | 市全体 N=797 | いがまち地域 N=186 |
|-------------------------------------|--------------|-----------------|
| 鉄道（近鉄） | 12.4% | 10.8% |
| 鉄道（JR草津線） | 3.4% | 7.5% |
| 鉄道（JR関西本線） | 8.8% | 14.5% |
| 鉄道（伊賀鉄道） | 8.4% | 8.6% |
| バス（三重交通） | 6.1% | 6.5% |
| 行政サービス巡回車・比自岐コスモス号 | 0.6% | 0.5% |
| 青山行政バス | 0.4% | 0.0% |
| にんまるバス | 2.0% | 2.2% |
| 地域運行バス（かんべ北斗号）・その他バス（はたっこ号）・山添村村民バス | 0.5% | 0.5% |
| 家族等による送迎 | 10.3% | 7.5% |
| 企業の送迎バス | 0.0% | 0.0% |
| 買い物バス（スーパー・社協など） | 0.9% | 2.7% |
| 病院の送迎バス（診療所、デイサービスなど） | 1.3% | 1.1% |
| 自動車（自分で運転） | 77.9% | 73.1% |
| タクシー | 1.6% | 1.6% |
| 介護タクシー（福祉有償運送） | 0.5% | 1.1% |
| 原付・バイク | 2.0% | 0.5% |
| 自転車 | 4.8% | 6.5% |
| 徒歩 | 6.9% | 9.1% |
| その他 | 0.6% | 0.5% |

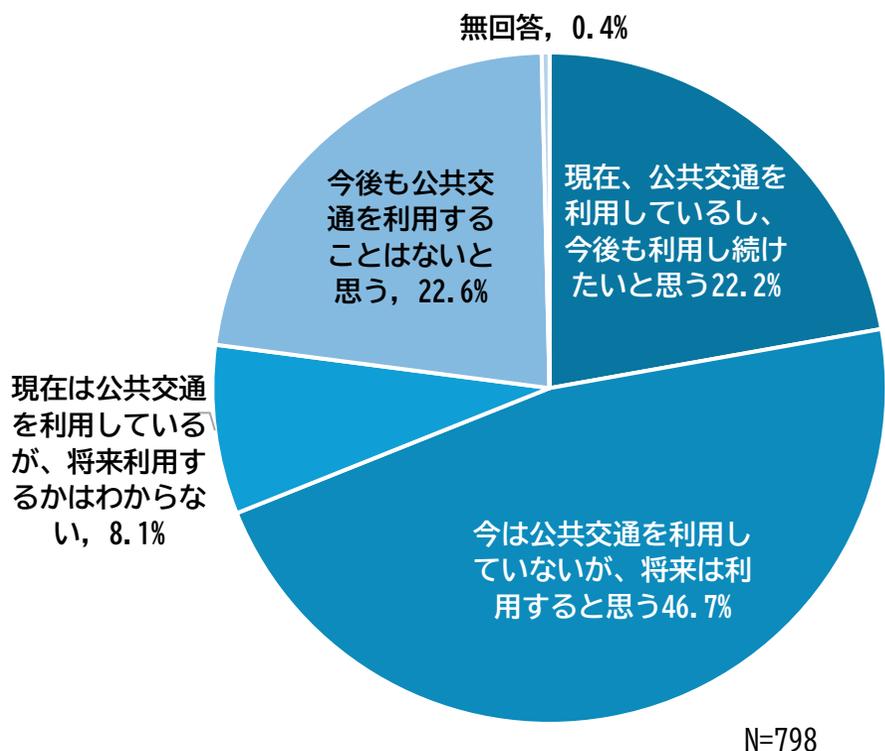
—市全体と比較して高い —市全体と比較して低い

3. アンケートの結果(市民アンケート)

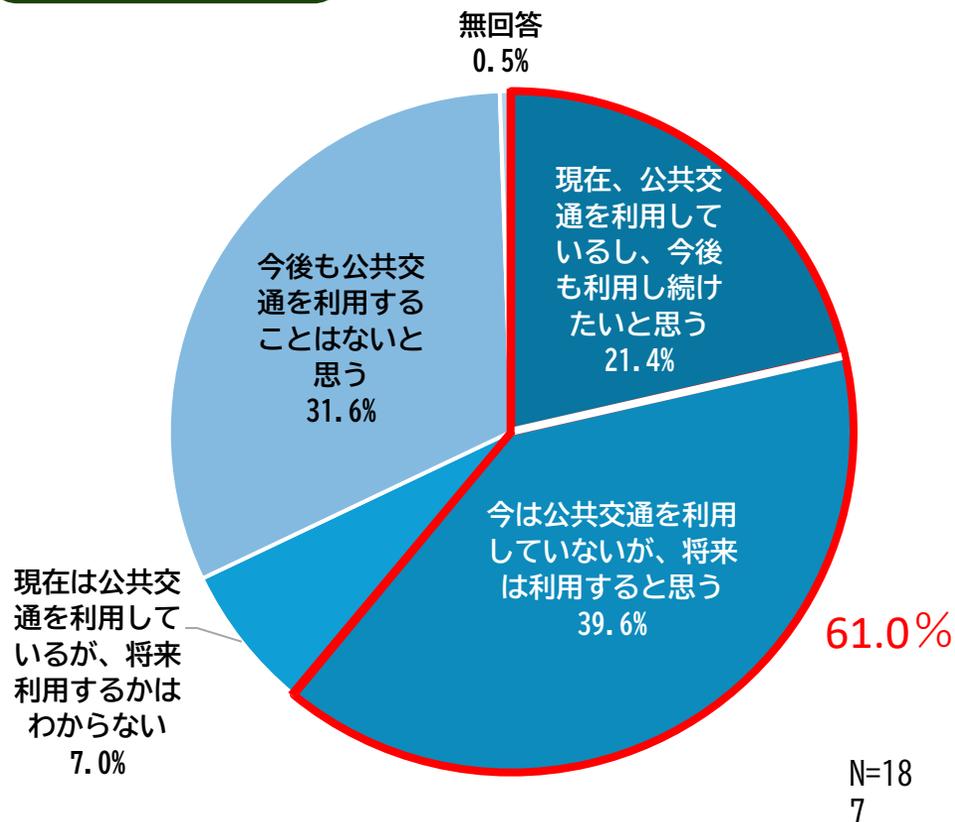
【市民アンケート】今後の公共交通の利用

- ・ いがまち地域は、市全体にくらべて、「**将来公共交通を利用する**」と回答した割合がやや低く、「**将来利用する**」と回答した割合は約6割である。

市全体
N=798



いがまち地域
N=187



3. アンケートの結果(市民アンケート)

【市民アンケート】市内の公共交通利用促進に向けて重視すべき点(3つまで)

- ・ いがまち地域は、利用促進に向けた重視すべき点について、「**バス路線の運行本数の増便**」の項目が最も高い。
- ・ 「**駅・バス停のバリアフリー化**」の項目について、市全体と比較して高い。
- ・ 「**地域のニーズに応じた地域主体の交通の充実**」の項目について、市全体と比較して低い。

—市全体と比較して高い —市全体と比較して低い

市全体
N=795

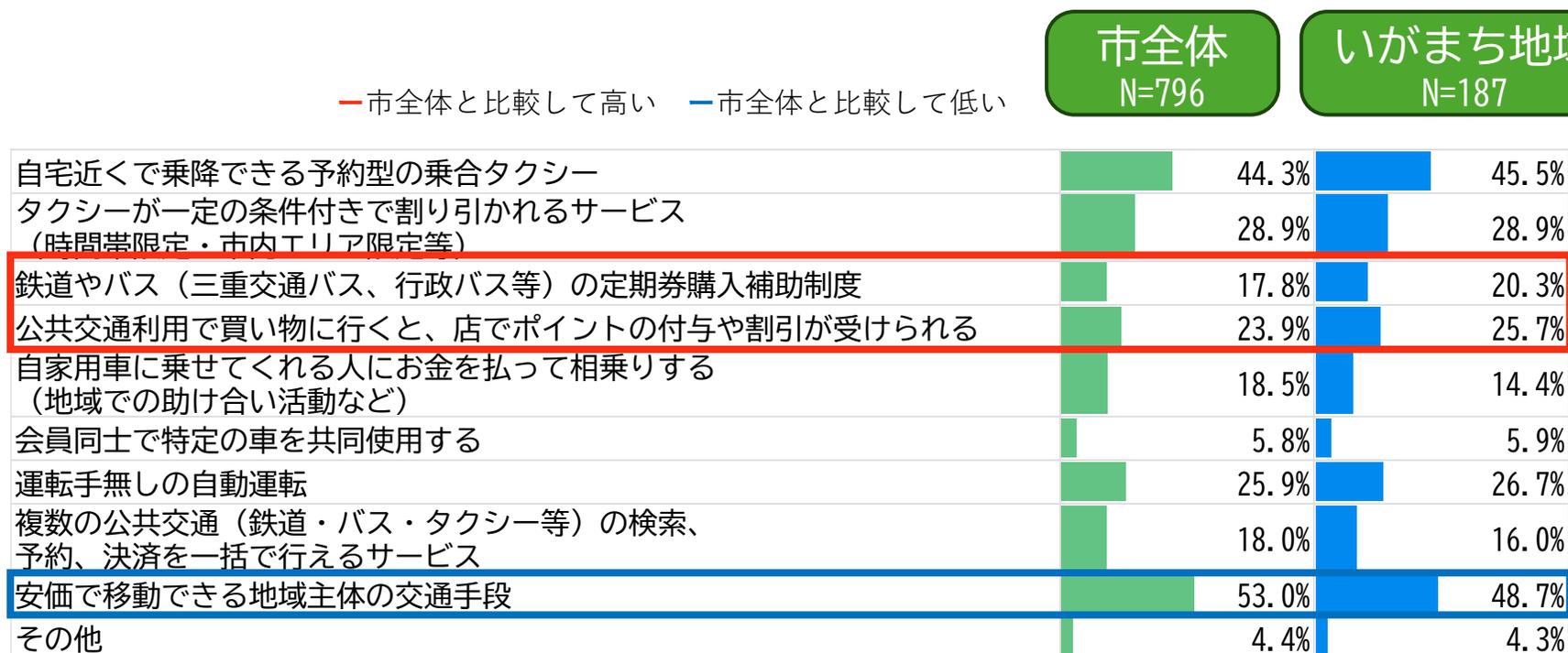
いがまち地域
N=187

| | 市全体 N=795 | いがまち地域 N=187 |
|--|--------------|-----------------|
| バス路線の新設や運行本数の増便 | 42.4% | 45.5% |
| 利用状況に応じたバス路線の統廃合や運行本数の増便又は減便(集中と選択) | 22.8% | 15.0% |
| 鉄道の運行本数の増便 | 29.1% | 30.5% |
| 新たな決済システムの導入(QRコード、クレジットカードのタッチ決済など) | 10.3% | 8.0% |
| 駅・バス停のバリアフリー化 | 10.1% | 18.2% |
| 学生や高齢者を対象とした運賃の無料化や補助 | 35.2% | 35.3% |
| 自家用車を活用したライドシェアの展開 (地域の人同士が車を乗り合い、みんなで移動を助け合う仕組み) | 16.7% | 17.1% |
| 先端技術の導入(自動運転バスなど) | 11.8% | 12.3% |
| 環境に配慮した車両への転換(EVバス、水素バスなど) | 2.6% | 4.3% |
| 小型電動モビリティの促進 (電動キックボード、1~2人乗り程度の小型車両など) | 4.8% | 6.4% |
| 新たな交通事業者の参入促進 | 7.4% | 7.5% |
| 乗務員の確保・人材育成 | 9.7% | 8.6% |
| 地域のニーズに応じた地域主体の交通の充実 | 32.3% | 25.7% |
| その他 | 5.3% | 6.4% |

3. アンケートの結果(市民アンケート)

【市民アンケート】公共交通の改善に向けたサービスについて、関心があるもの(全て)

- ・ 関心のあるサービスについて、市全体と大きな傾向は変わらない。
- ・ 「**鉄道やバスの定期券購入補助制度**」や「**店でポイントの付与や割引が受けられる**」サービスについて、やや関心が高い。
- ・ 「**安価で移動できる地域主体の交通手段**」については関心が最も高いが、市全体に比べると、低い傾向にある。



3. アンケートの結果(高校生アンケート)

【高校生アンケート】晴天時の通学の交通手段

- ・バス（三重交通）の利用や家族による送迎の割合が、市全体と比較すると若干多い。
- ・近鉄の利用が少ない。

市全体
N=208

いがまち地域
N=72

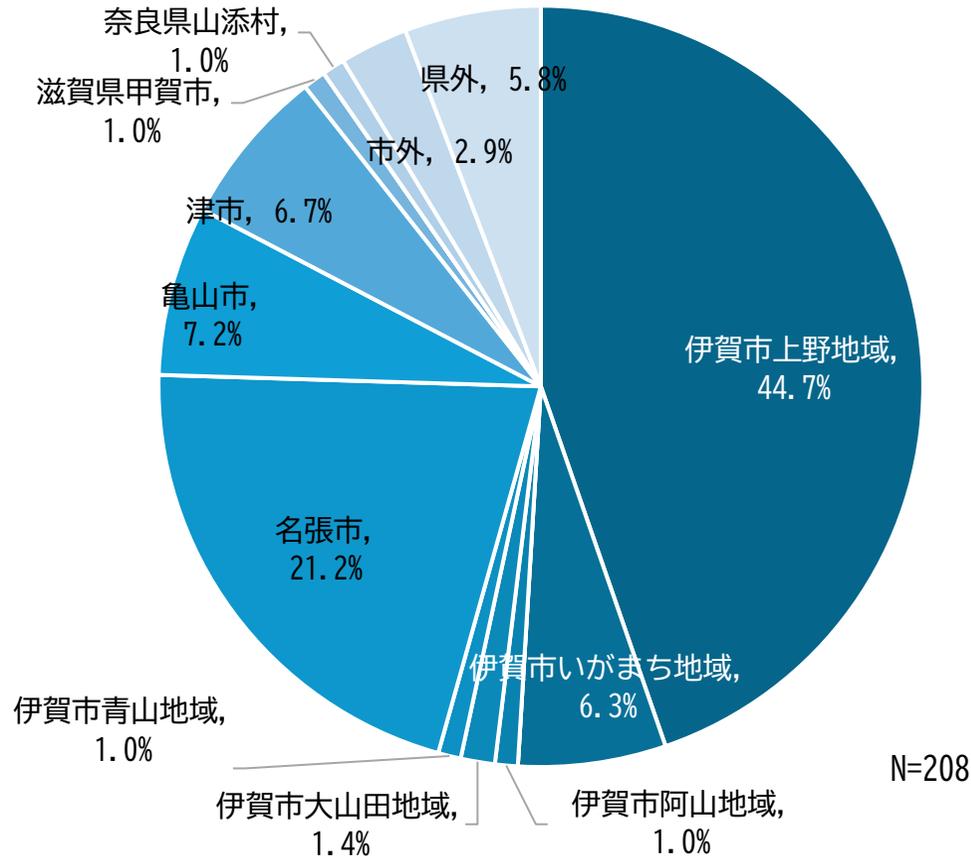
| | 市全体 N=208 | いがまち地域 N=72 |
|------------------------------------|--------------|----------------|
| 鉄道（近鉄） | 16.3% | 6.9% |
| 鉄道（JR草津線） | 0.5% | 0.0% |
| 鉄道（JR関西本線） | 23.1% | 18.1% |
| 鉄道（伊賀鉄道） | 23.1% | 20.8% |
| バス（三重交通） | 31.7% | 34.7% |
| 行政サービス巡回車・比自岐コスモス号 | 0.0% | 0.0% |
| 青山行政バス | 0.0% | 0.0% |
| にんまるバス | 0.0% | 0.0% |
| 地域運行バス（かんべ北斗号）その他バス（はたっこ号）・山添村村民バス | 0.0% | 0.0% |
| スクールバス | 12.0% | 1.4% |
| 家族等による送迎 | 40.4% | 43.1% |
| タクシー | 0.0% | 0.0% |
| 原付 | 0.5% | 0.0% |
| 自転車 | 20.2% | 29.2% |
| 徒歩 | 27.9% | 25.0% |
| その他 | 0.0% | 0.0% |

3. アンケートの結果(高校生アンケート)

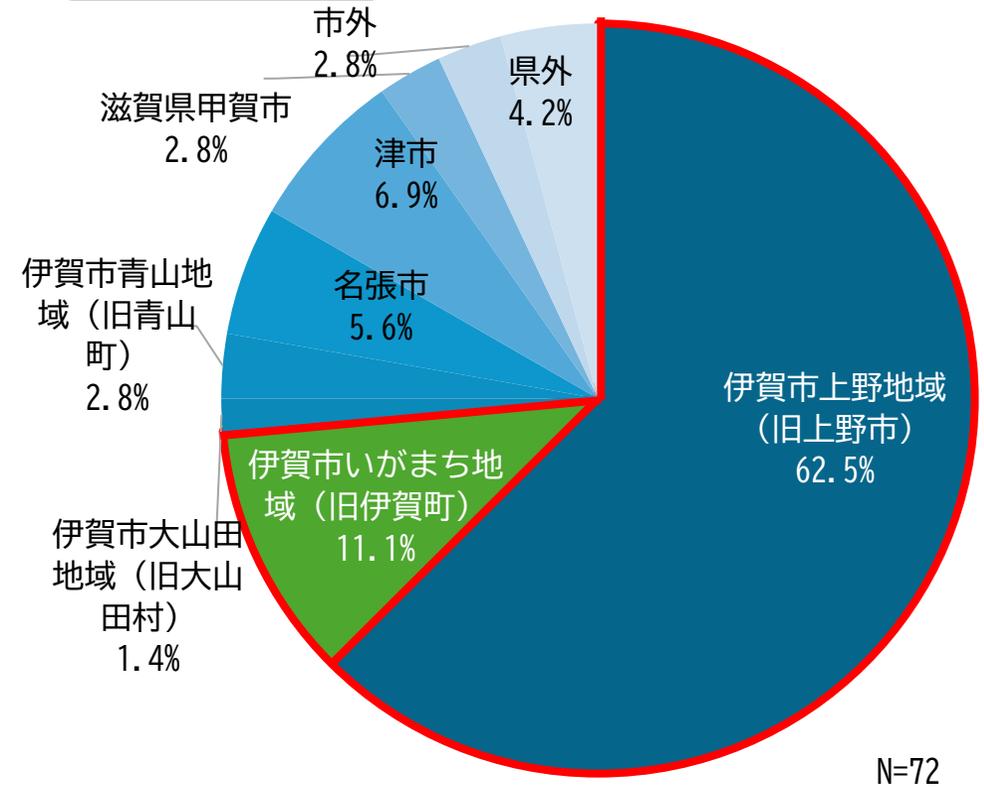
【高校生アンケート】休日の外出の目的地

- ・ 休日は、市全体と比較して、**いがまち地域内及び上野地域**に出かける割合が高い。

市全体
N=208



いがまち地域
N=72



3. アンケートの結果(高校生アンケート)

【高校生アンケート】休日の外出の移動手段(全て)

- ・ 家族等による送迎や自転車^①の割合が高い。
- ・ JR草津線、JR関西本線、伊賀鉄道^②の利用者が市と比較してやや多い。
- ・ 近鉄やバス、徒歩での移動が市全体と比較すると少ない。

市全体
N=208

いがまち地域
N=72

—市全体と比較して高い —市全体と比較して低い

| 移動手段 | 市全体 (%) | いがまち地域 (%) |
|-------------------------------------|---------|------------|
| 鉄道(近鉄) | 18.3% | 13.9% |
| 鉄道(JR草津線) | 3.8% | 5.6% |
| 鉄道(JR関西本線) | 13.5% | 16.7% |
| 鉄道(伊賀鉄道) | 16.8% | 18.1% |
| バス(三重交通) | 18.8% | 12.5% |
| 行政サービス巡回車・比自岐コスモス号 | 0.0% | 0.0% |
| 青山行政バス | 0.0% | 0.0% |
| にんまるバス | 0.5% | 0.0% |
| 地域運行バス(かんべ北斗号)・その他バス(はたっこ号)・山添村村民バス | 0.0% | 0.0% |
| 家族等による送迎 | 58.7% | 63.9% |
| タクシー | 1.0% | 0.0% |
| 原付 | 1.0% | 0.0% |
| 自転車 | 16.8% | 25.0% |
| 徒歩 | 20.2% | 12.5% |
| その他 | 2.4% | 1.4% |

3. アンケートの結果(高校生アンケート)

【高校生アンケート】鉄道(伊賀線、JR、近鉄)を利用する理由

- ・ 鉄道を移動する理由の傾向は市全体とほぼ同様であり、「徒歩や自転車より、疲れずに移動できる」が最も多い。
- ・ 市全体よりも回答が多いのは「**夜や悪天候でも安心して移動できる**」であり、それ以外は市全体の回答を下回っている。

市全体
N=188

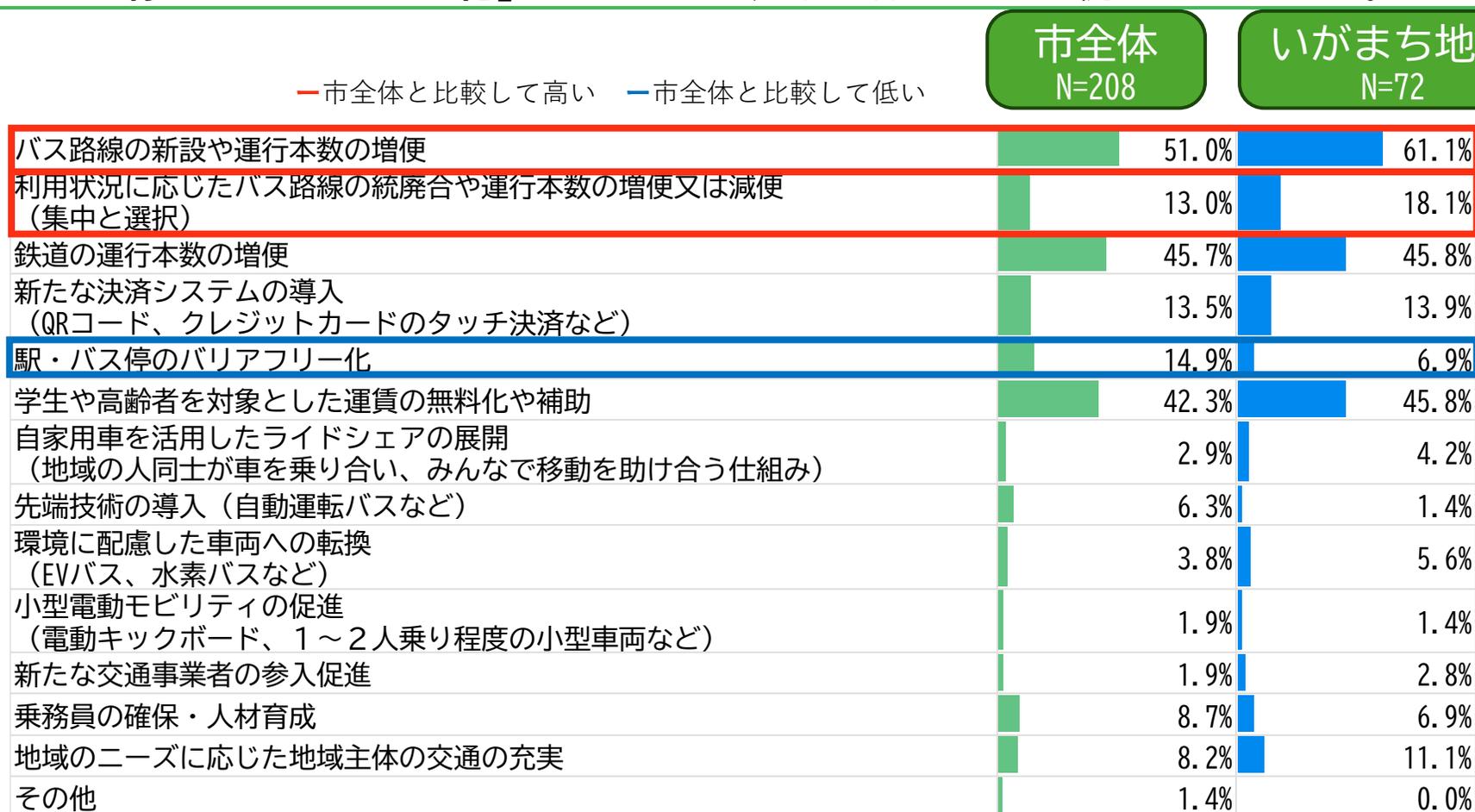
いがまち地域
N=72

| | 市全体 N=188 | いがまち地域 N=72 |
|--------------------------|--------------|----------------|
| 遠くまで早く着くことができる | 36.7% | 27.8% |
| 徒歩や自転車より、疲れずに移動できる | 33.5% | 33.3% |
| 夜や悪天候でも安心して移動できる | 10.6% | 11.1% |
| 行きたいところの近くまで行く路線がある | 31.9% | 26.4% |
| 友達と一緒に移動できる | 32.4% | 23.6% |
| 行きたい場所が徒歩・自転車ではいけない場所にある | 35.1% | 25.0% |
| 送迎してくれる人がいない | 21.8% | 20.8% |
| その他 | 0.5% | 0.0% |
| 鉄道は利用していない | 11.2% | 9.7% |

3. アンケートの結果(高校生アンケート)

【高校生アンケート】市内の公共交通利用促進に向けて重視すべき点(3つまで)

- ・ いがまち地域において、公共交通の利用促進に向けて最も重視すべき点は、「**バス路線の運行本数の増便**」である。
- ・ いがまち地域では、「**利用状況に応じたバス路線の統廃合や運行本数の増便又は減便**」の項目を市全体よりも重視している。
- ・ 「**駅・バス停のバリアフリー化**」については、市全体よりも重視されていない。



3. アンケートの結果(高校生アンケート)

【高校生アンケート】公共交通の改善に向けた、サービスについて関心があるもの(全て)

- ・ 関心のある内容の傾向は、市全体とほぼ同様であり、「**安価で移動できる地域主体の交通手段**」が最も高い。
- ・ いがまち地域では、「**タクシーが一定の条件付きで割り引かれる**」サービスや「**公共交通で買い物に行くと、店でのポイントの付与や割引が得られる**」サービスについて市全体よりも、関心が高い。
- ・ 市全体に比べて「**鉄道や路線バスの定期券購入補助制度**」への関心が若干低い。

市全体
N=208

いがまち地域
N=72

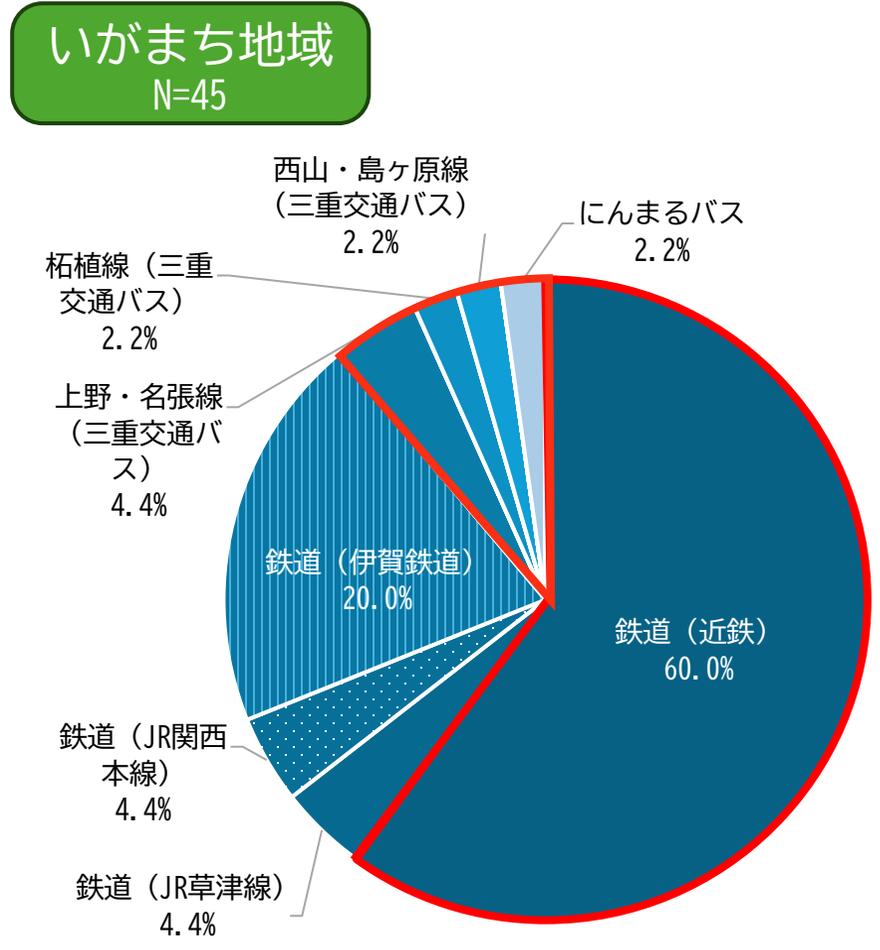
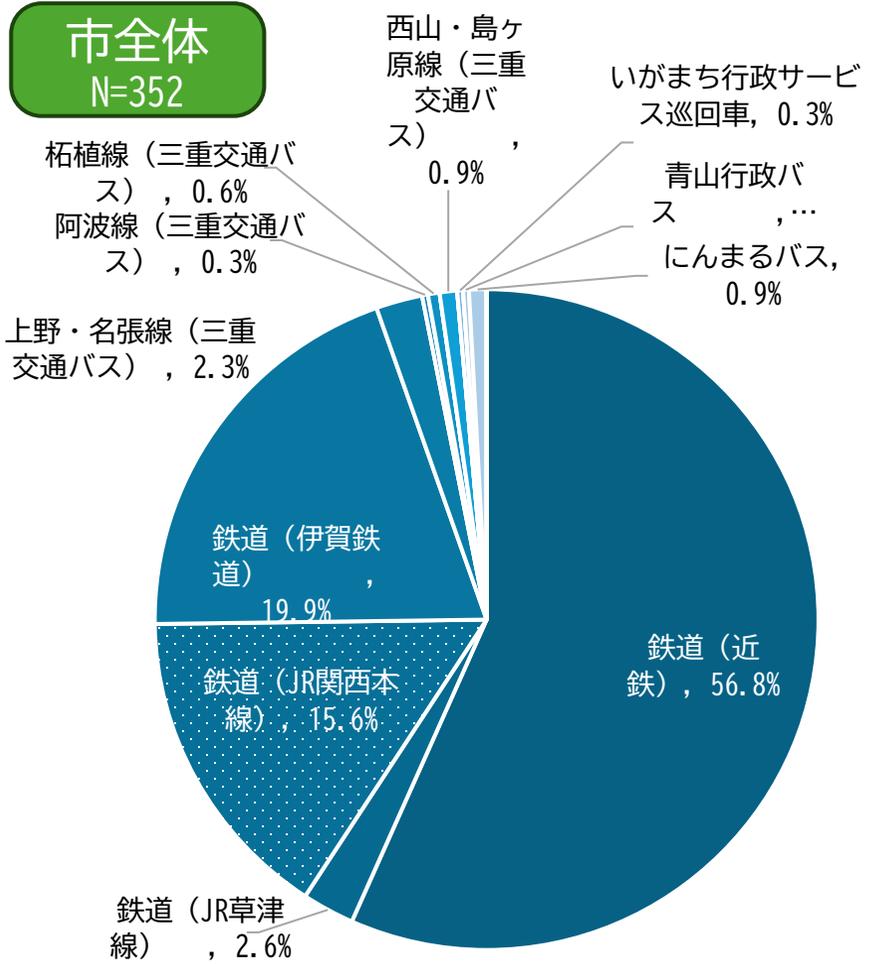
—市全体と比較して高い —市全体と比較して低い

| | 市全体 N=208 | いがまち地域 N=72 |
|--|--------------|----------------|
| 自宅近くで乗降できる予約型の乗合タクシー | 23.1% | 23.6% |
| タクシーが一定の条件付きで割り引かれるサービス (時間帯限定・市内エリア限定等) | 12.5% | 18.1% |
| 鉄道や路線バスの定期券購入補助制度 | 45.7% | 40.3% |
| 公共交通利用で買い物に行くと、店でポイントの付与や割引が受けられる | 25.0% | 30.6% |
| 自家用車に乗せてくれる人にお金を払って相乗りする (地域での助け合い活動など) | 9.6% | 13.9% |
| 会員同士で特定の車を共同使用する | 3.8% | 2.8% |
| 運転手無しの自動運転 | 13.0% | 12.5% |
| 複数の公共交通(鉄道・バス・タクシー等)の検索、 予約、決済を一括で行えるサービス | 20.2% | 19.4% |
| 安価で移動できる地域主体の交通手段 | 46.6% | 47.2% |
| その他 | 1.0% | 0.0% |

3. アンケートの結果(利用者アンケート)

【利用者アンケート】普段最も使う公共交通

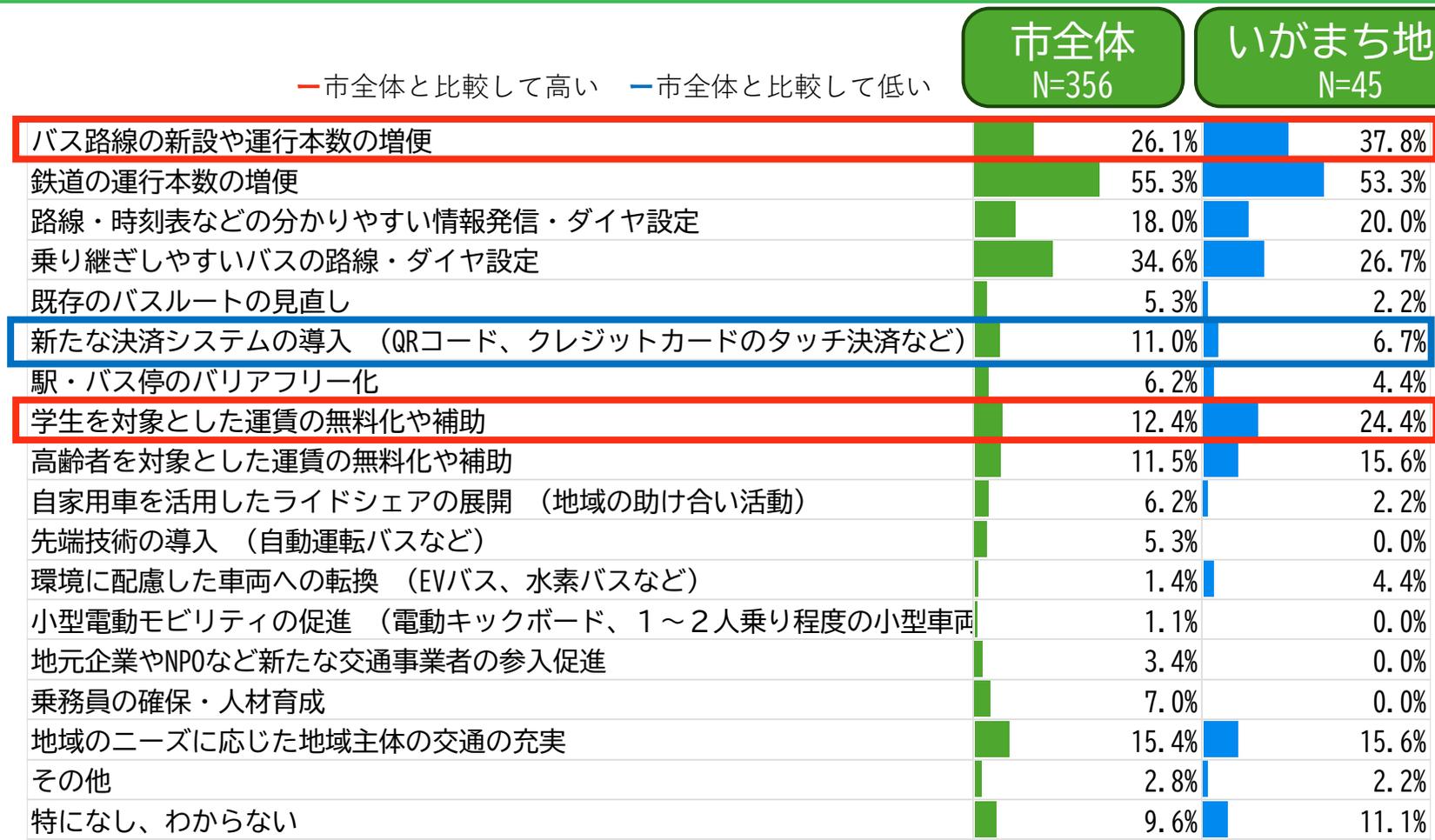
- ・ いがまち地域において、普段の生活で最も利用する公共交通は、**近鉄**が多い。
- ・ 市全体に比べて、**バスの利用が比較的多い**。



3. アンケートの結果(利用者アンケート)

【利用者アンケート】公共交通の利用促進に向けて重視すべき点(3つまで)

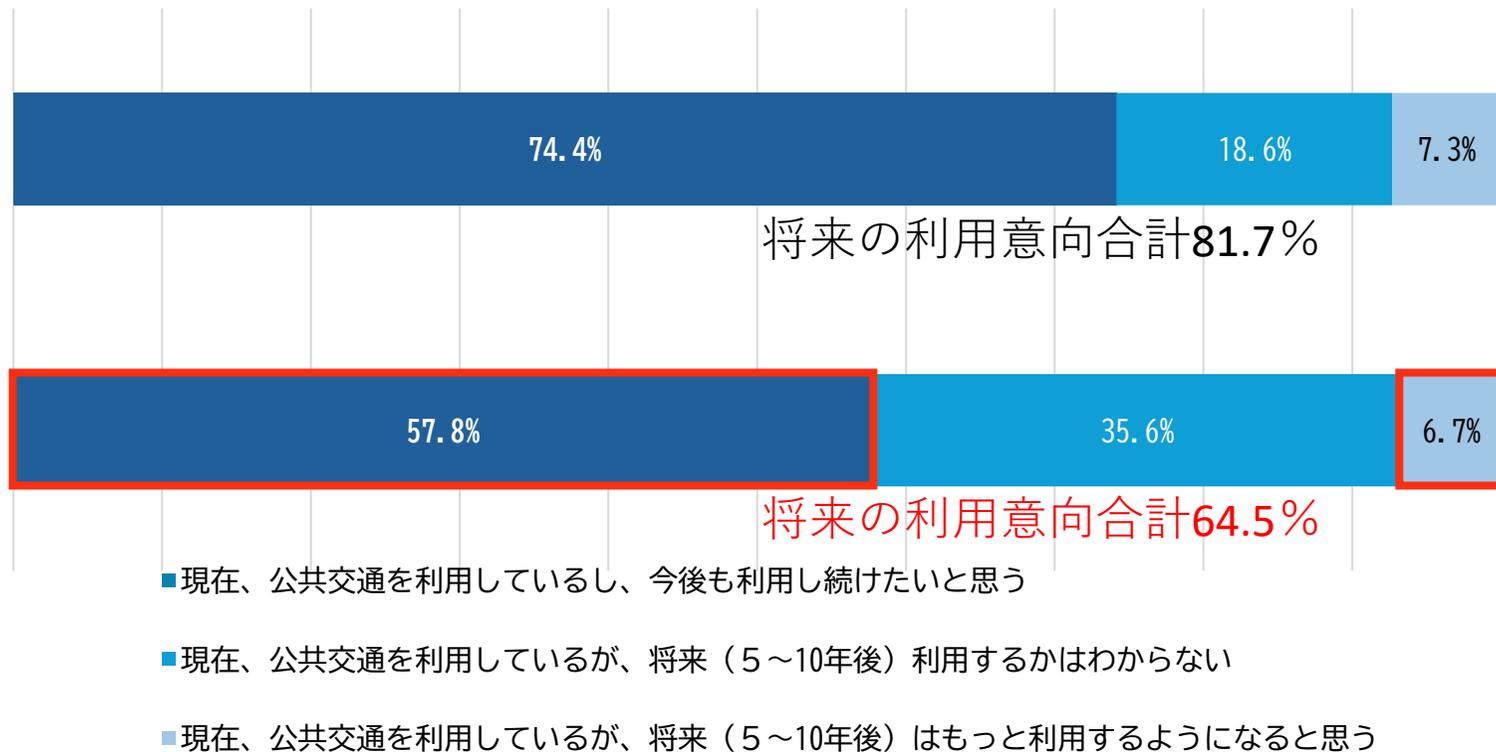
- ・ 関心のある内容の傾向は、市全体とほぼ同様であり、「**鉄道の運行本数の増便**」が最も高い。
- ・ 市全体と比べて、「**学生を対象とした運賃の無料化や補助**」や「**バス路線の新設や運行本数の増便**」を重視している。一方で、「**新たな決済システムの導入**」についてはあまり重視されていない。



3. アンケートの結果(利用者アンケート)

【利用者アンケート】今後の公共交通の利用について

- ・ いがまち地域において、公共交通を今後も利用し続けたいと考えている割合は市全体と比較して低く、約6割であった。

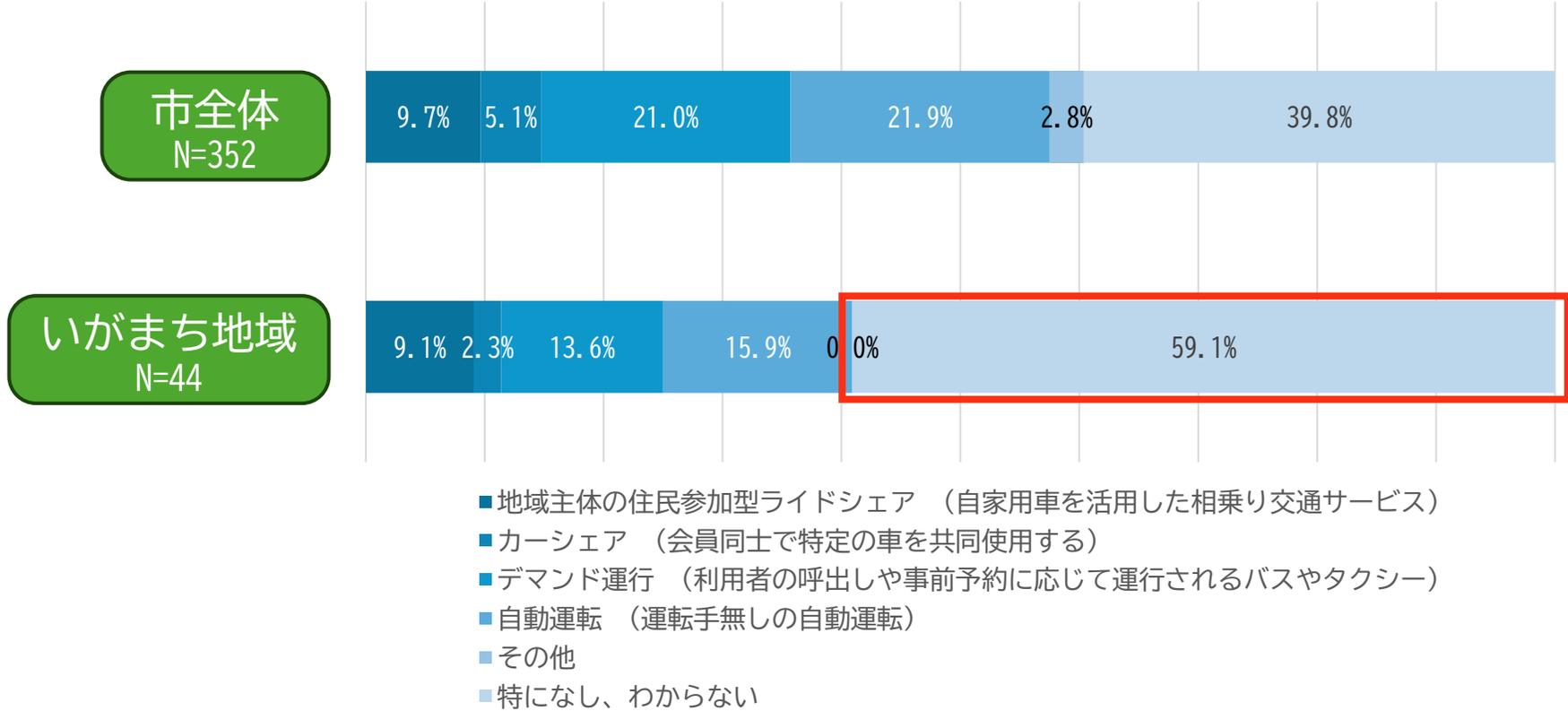


※満足度の質問において、いがまち地域で、「不満、やや不満」の回答が多い項目は、「運行本数（40.0%）」、「乗り継ぎの利便性（40.0%）」、「運賃（48.9%）」であった。

3. アンケートの結果(利用者アンケート)

【利用者アンケート】関心のある新たな交通手段

・ いがまち地域では新たな交通手段への関心が比較的少ない。



3. アンケートの結果(市民アンケート)

【補足(P.8, P.9)】目的別目的地

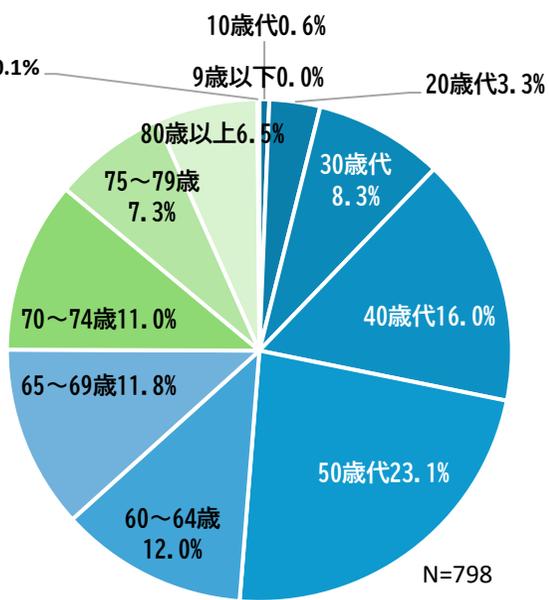
- ・ 上野地域、いがまち地域ともに通勤や買い物利用が多い。

| | 伊賀市上野地域 (旧上野市) | 伊賀市いがまち地域 (旧伊賀町) | 伊賀市島ヶ原地域 (旧島ヶ原村) | 伊賀市阿山地域 (旧阿山町) | 伊賀市大山田地域 (旧大山田村) | 伊賀市青山地域 (旧青山町) | 名張市 | 亀山市 | 津市 | 滋賀県甲賀市 | 京都府南山城村 | 京都府笠置町 | 奈良県山添村 | 市外 | 県外 | 合計 |
|-------|-------------------|---------------------|---------------------|-------------------|---------------------|-------------------|-----|-----|----|--------|---------|--------|--------|----|----|-----|
| 通勤 | 43 | 17 | 4 | 2 | 1 | 1 | 6 | 2 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 85 |
| 通学 | | | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 出張 | 1 | | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | | 2 | 3 |
| 買い物 | 37 | 13 | | | | | 5 | 1 | | 2 | 0 | 0 | 0 | | 4 | 62 |
| 観光・娯楽 | 3 | 1 | | | | | 1 | | | | 0 | 0 | 2 | | 8 | 15 |
| 通院 | 5 | 2 | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | | | 7 |
| その他 | 4 | | | | 1 | 1 | 2 | | | | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 10 |
| 合計 | 93 | 33 | 4 | 2 | 2 | 2 | 14 | 3 | 3 | 5 | 0 | 0 | 2 | 3 | 18 | 184 |

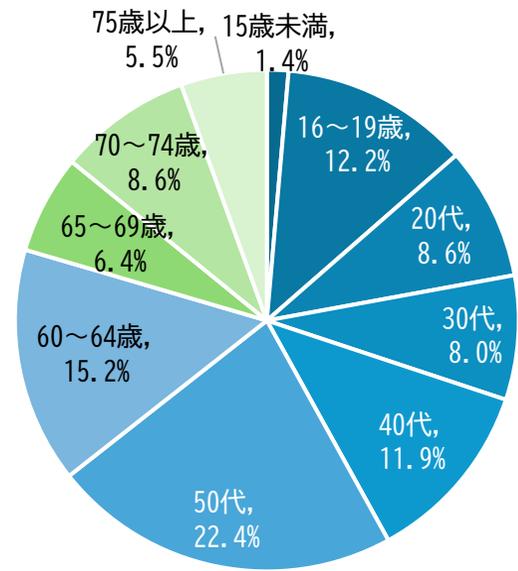
3. アンケートの結果

【補足】回答者の年齢

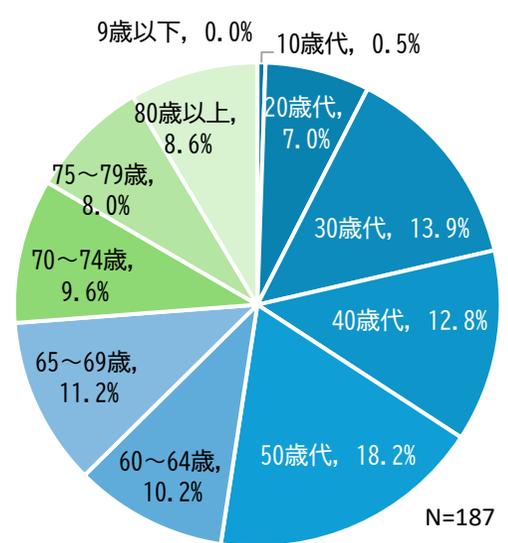
市民アンケート
市全体
N=798



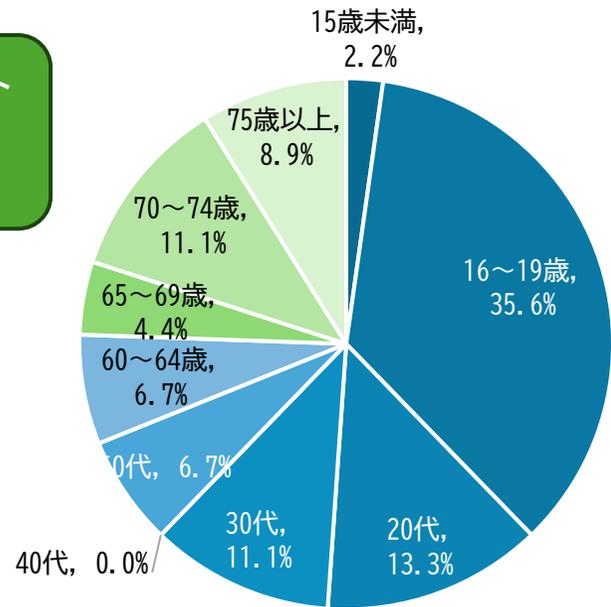
利用者アンケート
市全体
N=362



市民アンケート
いがまち地域
N=187

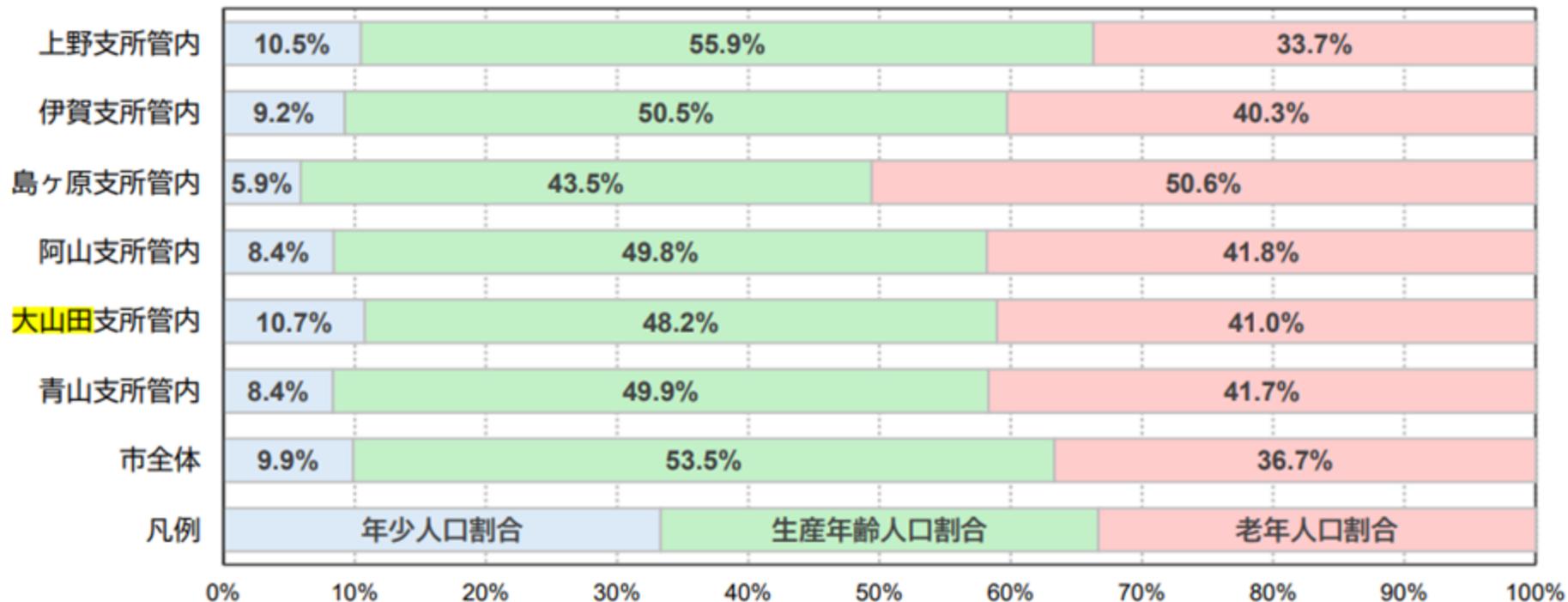


利用者アンケート
いがまち地域
N=45



3. アンケートの結果

【補足】地域別高齢化率



(令和7年9月末時点) ※日本人のみ

資料：住民基本台帳

図 3-6 年齢3区分別の支所別人口の割合